

ふれあいリビング

高齢者が地域の中で孤立することなく、誰もが気軽に集まって楽しめるよう、既存集会所の一部を改装した交流の場が「ふれあいリビング」です。地域コミュニティの活動拠点として、現在25か所の府営住宅で実施されています。自治会やボランティアのみなさんの自主的な取り組みにより、地域の人と人のつながりをつくるオアシスとなっています。

今回は、新たに「ふれあいリビング」を開設した住宅から2団地を紹介します。



高倉台第1住宅 ふれあいリビング「よりみち」

(活動日時 毎週木・日曜日の9～12時)

近隣のコミュニティ喫茶が、テレビ局が来るほどの盛況ぶり。「ならば、私たちも!」と思い立ったのがきっかけ。自然と10名を超える賛同者が集まり「よりみち」をオープン。最初はコーヒーのみでスタートし、ふれあいリビングとして整備された昨年からは、カレーやオムライスなど多彩なメニューを用意。中でも、厚切りベーコンをサンドしたマフィンがヒットメニューです。

今では、外出の機会が少なかったお年寄りが、お友達と誘い合わせて来られたり、喫茶の事を口コミで知った住宅以外の近隣の方が来られるなど、気軽に住民同士がふれあえる場となっており、情報交換にも役立っています。中には「友達もでき、生き甲斐です。」と喜んでくださるお年寄りも。

また、秋には「シルバーウィーク・ふれあいの催し」として、作品展、餅つき、楽器演奏、民謡踊りなどを3日間に渡って開催されたそうです。



貝塚久保住宅 ふれあいリビング「いきいきサロン」

(活動日時 第1・第3水曜日の9～12時)

「いきいきサロン」のメニューは、「モーニングセット」の一品限定です。自主的に集まったスタッフの方々力が合わせ、整備されたキッチンを上手に利用して、ボリュームたっぷりのモーニングセットを手早く提供されています。

月2回、午前中3時間のオープンですが、団地外にも口コミで広がり、今では毎回80人以上の方が訪れ、気ままにおしゃべりしたり、くつろいだりなどして、賑やかな憩いの場となっています。

朝早くからの準備など、苦勞もありますが、独り暮らしのお年寄りが、いきいきサロンを楽しみにして下さり、これまで交流のなかった方も遊びに来てくれるようになったことが大きな収穫であり、私たちスタッフのやりがいとこのことです。



注) この記事は、2012年春号のふれあいだよりに掲載されたものです。
内容はすべて掲載当時のものです。